

筑波応用言語学研究

23

二種類の「忘れる」と補文形式 —付加詞修飾の可能性を中心に—	阿久澤 弘陽	--- 1
慣用句の透明度と親密度の関係について —日本語母語話者と学習者判断の比較から—	陳 雯	--- 15
「～を得る」に関する一考察	孟 熙	--- 31

2016

筑波大学 人文社会科学研究科
文芸・言語専攻
応用言語学領域

執筆者

阿久澤 弘陽	筑波大学	人文社会科学研究科	文芸・言語専攻	応用言語学領域
陳 雯	筑波大学	人文社会科学研究科	文芸・言語専攻	応用言語学領域
孟 熙	筑波大学	人文社会科学研究科	文芸・言語専攻	応用言語学領域

編集委員

石田 プリシラ 澤田 浩子 杉本 武 砂川 有里子 竹沢 幸一
沼田 善子 一二三 朋子 松崎 寛 宮本 エジソン
Ng Ting Yan Bonnie (学生委員) Watcharin Anekpongpan (学生委員)
渡辺 裕美 (学生委員)

執筆資格

筑波大学 人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 応用言語学領域あるいはその前身に所属、あるいは所属経験のある者（担当教員・元担当教員・院生・修了生）とする。

筑波応用言語学研究 23

2016年12月20日発行

発行所 筑波大学大学院 博士課程 人文社会科学研究科
文芸・言語専攻 応用言語学領域

(旧 文芸・言語研究科言語学専攻応用言語学コース)

〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話 (029) 853-4340 (宮本エジソン)

<http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/ooyoo/>

*TSUKUBA JOURNAL
OF APPLIED LINGUISTICS*

23

CONTENTS

On two Types of "wasureru (to Forget)" and Their Complement Forms: Focusing on the Possibility of Modifier Adjunction -----	Koyo AKUZAWA ---- 1
The Relation between the Transparency and Familiarity of Idioms: A Comparison of the Judgments of Japanese Native Speakers and Japanese Learners -----	Wen CHEN ---- 15
An Analysis of "-o eru" -----	Xi MENG ---- 31

2016

University of Tsukuba
Graduate School of Humanities and Social Sciences
Doctoral Program in Literature and Linguistics
Applied Linguistics Course